

## 【重要課題】 サプライチェーンにおける環境・社会配慮

### 方針・基本的な考え方

日本化薬グループは、サステナブル経営に即した購買活動を行うため「購買理念」「購買基本方針」を定め、これに従って購買活動を行います。お取引先のみならずとともに持続可能な社会実現に取り組んでいきます。

### サステナブル調達への取り組み

日本化薬グループは、サプライチェーンのみならずとともに持続可能な社会の実現を目指し、人権尊重、環境保全、労働安全衛生、法令遵守、公正取引などに配慮した調達活動を推進しています。サステナブル経営に即した購買活動を行うため「購買理念」「購買基本方針」を定め、これに従い購買活動を行っています。

### 購買理念

日本化薬グループは、**KAYAKU spirit**を実現するために『お取引先は最良の製品づくりの大切なビジネスパートナー』との考えに立ち、お取引先と相互の持続的な発展を目指してまいります。購買活動におきましては、法令や社会規範を遵守すると共に、購買基本方針に基づき公平・公正で誠実な取引を行います。

#### 購買基本方針

##### ◆ 法令・規範の順守、行動基準との適合性

- 日本化薬グループは、購買活動の実施に際し、関連法令や規範を遵守いたします。
- 日本化薬グループは、購買活動の適格性に関して、日本化薬グループの行動規範である、日本化薬グループ行動憲章・行動基準、グループ行動指針に基づいて判断いたします。

##### ◆ 門戸の解放、公正・公平な取引、取引の透明性

- 日本化薬グループは、購買活動の執行に際し、国内外のお取引先に広く門戸を開放し、公正・公平な取引を行います。
- 日本化薬グループは、資材業務規程に従い電子的購買システムまたは文書により適正な手続きにて購買活動の透明性を確保します。

##### ◆ お取引先とのパートナーシップ

- 日本化薬グループは、お取引先と相互理解と信頼関係に基づくパートナーシップを構築し、お互いの持続的な発展を目指して参ります。

##### ◆ 情報の保護

- 日本化薬グループは、業務上取得したお取引先に関する情報を適切に保護し、漏洩防止に努めます。

##### ◆ 地球環境への配慮

- 日本化薬グループは、地球環境に配慮した商品、原材料の調達を推進します。

##### ◆ 取引先選定に関する基本方針

- 日本化薬グループは、品質・価格・納期等の経済性と共に、お取引先の経営基盤、技術競争力、安定供給力等を考慮して商品・原材料を選定します。
- 日本化薬グループは、お取引先の選定に際し、法令・規範の遵守、人権の尊重、労働環境への配慮、防災・安全への取り組み、環境保全への取り組み等、持続可能な社会実現への取り組みも考慮いたします。
- 日本化薬グループは、お取引先の選定に際し、サプライヤーのBCP（Business Continuity Plan）等のリスク管理体制の有無を考慮いたします。

### サステナブル調達の推進

日本化薬グループは、持続可能な社会を実現するために「日本化薬グループ行動憲章」「購買理念」「購買基本方針」をサステナブル調達ガイドブックとしてガイドラインを定め、多くのお取引先のみならずともに賛同を得られるよう推進しています。

研究・開発から原材料の調達、製造、販売、物流までのサプライチェーンすべてのお取引先のみならずと一緒に人権尊重をはじめ環境保全、労働安全衛生、法令遵守、公正取引などに配慮したサステナブル調達を推進しています。

お取引先のみならずにご理解いただくために説明会や、日常のコミュニケーションや商談の場を通して、当社のサステナブル調達方針に賛同いただけるよう努め、サステナブル調達ガイドライン遵守についての同意文書への署名をお願いしております。

今後も持続可能な社会の実現のためサプライチェーン全体で社会的責任を履行し、お客様に愛され親しまれるよう努めます。

▶ [サステナブル調達ガイドブック](#)

### お取引先の環境面と社会面のアセスメント

2021年度は過去1年間の原材料購買実績上位から1次と、その2次のお取引先（計約300社）を対象にサステナブル調達ガイドブックに準じた設問内容（人権、安全衛生、環境、倫理、管理システム、品質・製品の安全性、情報セキュリティ、BCPの各項目、全52問）を設定し、アンケートを実施しました。ご回答いただいたお取引先（274社）においては環境面、社会面ともにマイナスインパクトがないことを確認しました。今後もお取引先のみならずとともに持続可能な社会実現を目指し、これらの活動を継続していきます。

### BCP（事業継続計画）調達への取り組み

日本化薬では日頃からサプライチェーンでの災害や事故情報の入手に努めており、情報を入手した際は即、社内のデータベースにて情報を共有するとともに、直ちに該当原産国やメーカーの原材料一覧をピックアップし、在庫、調達への影響、工場の再開状況、製造への影響を確認しています。BCP対策として多くの品目が複数購買化されていますが、さまざまな状況に対応するため、さらに取り組みを強化していきます。

## 日本化薬と医療機関等との関係における透明性に関する取り組み

### 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する取り組み

日本化薬は、医薬品等の提供を通じてみなさまの健康向上に貢献するため、研究者、医療関係者、患者団体等と相互の信頼関係を構築し、医学・薬学の基礎研究、臨床開発、製造販売後の情報提供・収集活動、安全対策の実施などの多様な活動を展開しています。創薬や医薬品の適正使用を推進するために発生する費用については医療機関等と適切に契約を締結し、適正な対価を支払っています。また、薬機法をはじめとする法規制は製薬協企業行動憲章、製薬協コード・オブ・プラクティス、医療用医薬品プロモーションコード、医療用医薬品製造販売業公正競争規約などの業界自主規範を遵守しています。しかし、このような法令遵守体制に基づく企業活動を推進しても、当社から医療機関等への寄附金や対価の支払いが存在するため、それらが医療関係者等の判断に何らかの影響を及ぼしているのではないか、との懸念を抱かれている可能性は否定できません。

製薬産業をはじめとする生命関連産業は、他の産業以上に、高い倫理性とその活動の透明性が求められることを踏まえ、日本化薬は医療機関、患者団体等に対する資金提供の情報をウェブサイト上で公開するための指針を作成し、支払い情報も公開しています。

▶ [日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する取り組み](#)

▶ [日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する取り組み](#)

## 取り組み

### セイフティシステムズ事業

#### 購買説明会の開催

セイフティシステムズ事業では、日頃お世話になっているお取引先を対象に、年に一度「購買説明会」を実施しています。これは、当社グループの業績見込みや次年度以降の事業計画、生産体制の現況、開発計画、中長期ビジョン、購買方針、環境への取り組みを説明し、これらをお取引先の事業計画の参考情報の一つとしていただくことを目的としています。

当社を含め自動車産業のサプライチェーンを担うお取引先は、めまぐるしく変化する国内・国際情勢、原材料相場、為替変動などの外的環境に即応しながら、顧客に遅延を起こすことなく、高品質・低コストの製品を供給し続けなければなりません。この購買説明会が貴重な情報交換の場となるよう有益な情報を提供することを心がけています。

また、品質・コスト・納期に模範的な対応をとっていただいたお取引先に、「優秀協力会社賞」を進呈しています。



2019年度の実施風景